

学報

2015 年 12 月 Vol. 700



岐阜県と「食品科学分野の連携に関する協定」を締結
(11 月 16 日)

第 4 6 回岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティフォーラム」を開催	0 1
森脇学長らが第 3 回日本・インドネシア学長会議に参加	0 2
岐阜大学・F C 岐阜 環境連携事業	
岐阜う米(まい)プロジェクト第 3 弾「販売」を実施	0 3
岐阜大学キックオフ・シンポジウムを開催	0 4
岐阜県と「食品科学分野の連携に関する協定」を締結	0 5
北方町と連携に関する協定を締結	0 6
第 1 0 回岐阜大学産学ツーリズムを開催	0 7
「第 2 回国際ワークショップ」を開催	0 8
静岡県と教育研究協力に関する協定を締結	0 9
森脇学長らが同済大学(中国)一行と懇談	1 0
学位授与	1 1
表彰受賞者	1 2
平成 2 7 年秋の生存者叙勲 一本学関係者 1 名が受章	1 3
産官学連携の実施状況	1 4
外国人研究者の受け入れ	1 5
メディア掲載一覧	1 6
諸会議	2 0
主要日誌	2 2
人事異動(学内限定)	2 3
永年勤続者表彰(学内限定)	2 4

第46回岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティフォーラム」を開催

本学は、11月4日（水）、第46回 岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティフォーラム」を全学共通教育講義棟102番講義室で開催した。

この行事は、本学が「環境ユニバーシティ宣言」した11月を岐阜大学環境月間と定め、関連行事として毎年開催しているものである。今回は、世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふの学芸員である池谷幸樹氏を講師にお招きし、学内外から173名（内訳：教職員92名、学生64名、一般市民17名）の参加者があった。

森脇学長から挨拶があった後、横山理事（総務・財務担当）の進行のもと、池谷氏より「アクア・トトの学芸員が語るホントの水族館～生物多様性と飼育員の苦労話～」と題し講演していただいた。この中で、池谷氏は、自然の状態とは異なる水族館での動植物展示の実態に触れ、「間違いの少ない」水族館を目指し、現地調査などを通して、本来の生物の姿を水族館で再現するために奮闘されている様子を語られた。また、絶滅危惧種のイタセンパラの繁殖にも携わっておられ、希少生物の保全活動についても紹介していただいた。講演の後には、池谷氏と本学地域科学部の向井准教授との対談が行われ、参加者から寄せられた多数の質問にお答えいただいた。フォーラム終了後も、講師のもとに質問に訪れる姿が見られ、関心の高さが伺えた。

本学は、今後も様々な知識を集結して環境対策を推進していく。



講演する池谷氏



対談の様子

森脇学長らが第3回日本・インドネシア学長会議に参加

森脇学長及び鈴木理事（国際・広報担当）が、11月5日（木）～6日（金）にかけて、札幌で開催された第3回日本・インドネシア学長会議に参加した。

本会議は、第1回が平成24年10月に名古屋大学で、第2回は平成25年12月にガジャマダ大学で開催され、第3回となる今回は北海道大学での開催となった。本学は第1回から連続して学長が出席している。

今回は、"Collaboration in Research and Education for Sustainable Society" をテーマに、日本側から本学をはじめとして28大学、文部科学省、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）、国立大学協会、インドネシア側から23大学、教育省、駐日インドネシア大使館が参加して開催された。

本学はインドネシアの10大学と大学間・学部間協定を締結している。現在インドネシアの留学生は43名在籍しており（留学生総数の12.3%）、この数は中国に次いで2番目に多い数である。今回は、協定校のうちボゴール農科大学、ガジャマダ大学、バンドン工科大学の3大学から学長等が参加しており、森脇学長はボゴール農科大学の Herry Suhardiyanto 学長等と教育・研究における更なる連携について意見交換を行った。

分科会は① Education Collaboration, ② Research Collaboration, ③ Industry and University Cooperation in Innovation の3つのテーマに分かれて開催され、森脇学長は① Education Collaboration の分科会においてインドネシアの協定校等との教育連携等について発表を行った。

2億5千万の人口を擁し年平均人口増加率1.2%のインドネシアは総人口に占める若者の比率も高く、特にIT関係の大学の新設が続いている。本会議においても複数の大学から協力要請があり、今後もますますインドネシアの大学との連携を進めていく。



会議の様子



集合写真

岐阜大学・F C岐阜 環境連携事業岐阜う米プロジェクト第3弾「販売」を実施

本学は、11月8日（日）及び23日（月・祝）の2日間、「岐阜大学と岐阜フットボールクラブとの環境保全における連携に関する覚書」に基づき、岐阜う米プロジェクトの第3弾「販売」を岐阜メモリアルセンター長良川競技場で行った。

「岐阜う米プロジェクト」とは、お米ができる自然環境をより身近に感じ、環境保全について考えてもらうことを目的に、田植えから収穫・販売までを、本学とF C岐阜が協力して行っているものである。

このプロジェクトは、第1弾「どろんこサッカー&田植え体験」で小学生が田植えをし、第2弾「稲刈り&稲架掛け」でF C岐阜のG K太田岳志選手、MF 益山司選手及び岐阜大学生が稲刈りを行った。販売したお米は、岐阜県特産の品種「ハツシモ」に、本学で栽培したF C岐阜のチームカラーである緑色の品種「緑米」の玄米を混ぜたオリジナル商品『岐阜う米』である。

この販売は、F C岐阜の試合が開催される日に合わせて行われ、1日目は、雨天にも拘わらず、多くのサポーターがブースを訪れた。また、シーズン最終戦に行った2日目には、再度購入する方もいらっしゃるなど盛況となった。販売に合わせて試食の提供も行われ、多くの人々に「岐阜う米プロジェクト」を紹介する機会となった。また、これまでの活動の「どろんこサッカー&田植え体験」や「稲刈り&稲架掛け」についてご存知の方も多く、岐阜大学とF C岐阜の環境連携事業が広く知られていることを認識できる機会となった。

今回初めて実施した全3弾にわたる「岐阜う米プロジェクト」では、小学生、大学生及び地域住民の参加と協力があり、「米」を通じて環境について考えるとともに、本学とF C岐阜の連携による環境事業を知ってもらう効果的な取り組みとなった。

本学は、今後もF C岐阜と連携して環境に関する事業を推進していく。



販売の様子

岐阜大学キックオフ・シンポジウムを開催

本学は、11月9日(月)、平成27年度 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」キックオフ・シンポジウム「女性研究者の活躍による岐阜創生をめざして～地域循環型女性研究者育成・支援プログラム～」を開催した。

シンポジウムは、本学、岐阜薬科大学、岐阜女子大学、アピ株式会社が連携しておこなう本事業の趣旨と取り組み内容を周知紹介するとともに、女性研究者の活躍する地方創生に向けて、それぞれの立場から有意義な方策を考えるとして行ったもので、164名が参加した。

講演に先立ち森脇学長が挨拶し、続いて、国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST) 科学技術プログラム推進部プログラム主管の山村康子氏が「日本における女性研究者育成・支援の意義」と題して、基調講演を行った。山村氏は、女性研究者育成・支援事業について、具体的な支援やその効果について全国大学の実例を交えて語り、会場の参加者も熱心に聞き入った。

「地域循環型女性研究者育成・支援プログラム紹介」では、チーフコーディネータである本学男女共同参画推進室の相原特任助教から、本事業についての説明があった後、岐阜薬科大学教授・薬科学科長の永澤秀子氏、岐阜女子大学教授・学長補佐の藤田昌子氏、アピ株式会社キャリアアップ推進室長の荒木陽子氏から、本事業に向けての抱負が語られた。

その後、パネルディスカッションでは、本学の林副学長(男女共同参画推進室長)をモデレーターとし、岐阜新聞社編集局論説委員長 一川 哲志氏、岐阜県健康福祉部子ども・女性局局长 河野恭子氏、アピ株式会社代表取締役社長 野々垣孝彦氏、本学応用生物科学部の山根助教をパネリストとして、「女性研究者の活躍による地方創生に向けて」をテーマに各々の立場から討論が行われ、女性が県内にとどまって上位職に登用される意義や、子育てしながら研究を続ける上で必要な支援について意見交換した。

最後に、横山理事(総務・財務担当)による閉会の挨拶でシンポジウムが締めくくられた。



パネルディスカッションの様子

岐阜県と「食品科学分野の連携に関する協定」を締結

本学と岐阜県は、11月16日（月）、岐阜県庁にて「食品科学分野の連携に関する協定」を締結した。

この協定は、本学と岐阜県が行う地域産業支援及び教育・学術研究に係る活動において連携と交流を図り、食品科学分野に関する研究開発及び地域の企業支援等を促進・強化することを目的としている。

協定締結式で森脇学長は「食品科学分野の研究について実績のある岐阜大学が、研究成果を社会へ還元することで、地域活性化に貢献できる。研究成果を楽しみにしてほしい」と挨拶した。

今後は、「地域食材等を活かした研究開発の推進」、「食品・ヘルスケア関連企業等の支援体制の拡充」、「実践的教育・人材交流による専門人材育成の推進」の3つの柱を中心に連携活動を実施していく。連携活動拠点として平成30年度までに、本学敷地内に岐阜県食品科学研究所（仮称）を設置する。建物は3階建てで、1・2階は、県産業技術センター食品部が移転する。3階は、本学応用生物科学部と民間企業との共同研究を推進する産学官連携拠点として利用していく予定。国立大学法人敷地内に県の公設試験研究機関を設置するのは、全国で初めての試みとなる。



協定書を手にする古田知事（左）と森脇学長（右）

北方町と連携に関する協定を締結

本学と北方町は、11月20日（金）、連携に関する協定を締結した。

この協定は、多様な分野で包括的に緊密な協力関係を築き、持続的・発展的に連携を深めることにより、活力ある地域社会の形成・発展及び未来を担う人材育成に寄与することを目的としている。本学が地方自治体と連携協定を締結するのは12件目となる。

北方町役場で行われた協定締結式では、室戸英夫北方町長より「岐阜大学とはこれまで様々なかたちで協力をいただき、まちづくりを進めてきたところだが、これを機会により協力を深めていきたい」と、森脇学長からは「教育・研究だけでなく地域貢献やグローバル化といった観点から、様々な領域で連携を進めていきたい」と挨拶があった。

今後も、本学と北方町は、安全・安心な地域づくりを始めとした様々な分野で連携していく。



森脇学長（右）と室戸町長

第10回岐阜大学産学ツーリズムを開催

本学は、11月24日（火）～25日（水）に、森脇学長をはじめ、大学幹部ら19人による地域企業訪問（産学ツーリズム）を実施した。この産学ツーリズムは、本学が地域産業の振興に貢献するために、また、学生にとって魅力ある就職先の創出・開拓のために、地域を支える企業活動の現状を把握し、理解を深めることを目的として実施している。

今回は、東濃地域の中津川市内を中心に、本学卒業生の採用実績がある、美濃工業（株）、（株）トキワ、（株）サラダコスモの3社を訪問し、工場見学及び企業経営者・技術者との情報交換を行った。

美濃工業（株）では、独自の薄肉化技術を活かしたダイカスト製品を製造するための効率化された工場を、（株）トキワでは、国内外で評価の高い湿式法で白粉打粉製品を製造する過程や厳格な品質管理がされた工場を、（株）サラダコスモでは、安心・安全にこだわったスプラウト野菜工場を見学した。3社ともに、明確な企業理念と独自の技術をもとに、研究開発や製品開発に積極的で、企業経営の持続と発展に対する熱意を実感できるものとなった。

また、懇談会では、企業の今後の展望や研究開発上の課題、本学卒業生の状況や育成方針、インターンシップの実施状況等、熱心に意見交換がされた。

本学は、今後も人材育成や就職支援に活かせるよう、産学ツーリズムを継続的に実施していく。



岐阜大学卒業生より工場の説明を聞く役員ら

「第2回国際ワークショップ」を開催

本学大学院連合農学研究科は、本学応用生物科学研究科及びインドネシアのスプラ・マレット大学（UNS）の協力を得て、11月30日（月）～12月1日（火）の2日間、インドネシアのソロパラゴンホテル（ソロ市）において『第2回国際ワークショップ』を開催した。この企画は、大学のグローバル化の推進と現地産業界との交流を推進することを目的とし、昨年度から実施しているものである。

今年度は、「生物環境科学」をメインテーマとし、初日の30日（月）は、UNSのラフィク・カルシディ学長と本学の鈴木理事（国際・広報担当）の基調講演をはじめ、千家連合農学研究科長と向井教授による研究科紹介、平松教授、大西准教授、広田助教3名の研究紹介、UNSからは研究紹介、インドネシアの地元企業である **Experimental Stations for Rivers** の企業紹介を行った。約110名の参加者は、熱心に耳を傾け、意見交換も活発に行われた。なお、本ワークショップは小川科学技術財団の支援を受け開催した。

1日（火）は、砂糖精製工場の **RG.Tasikmadu-Karanganyar** を訪問し、テグー・アグング T.N.氏による会社説明の後、砂糖が精製されるまでの工程についてビデオ紹介され、その後、工場を視察した。

また、この日はUNSにおいて博士課程学生による **Bilateral Seminar** が開催されており、連合農学研究科の中野専任教授の挨拶の後、学生の神谷卓男（D2）さんと伊藤弘樹（D1）さんが、PT.Great Giant Pineapple（ランポン州にあるパイナップルの大規模農園）での研究インターンシップ報告を兼ねて研究報告を行った。

午後は、UNS内に設置された本学オフィスの利用状況確認及び共同実験室の開所式を開催した。テープカットは、UNSのサマンフディ教授（農学部副学部長）と千家連合農学研究科長が行い、実験装置等の確認を行った。この共同実験室は、UNSのデヴィ准教授（本学客員准教授）の管理のもとIC-GU12加盟大学の教員と学生に開放し、環境科学関連の研究拠点とする。

IC-GU12*：本学の呼びかけで形成された「南部アジア地域における農学系博士教育連携コンソーシアム」の略称。



千家連合農学研究科長による活動報告



砂糖精製工場の視察

静岡県と教育研究協力に関する協定を締結

本学と静岡県は、教育研究活動の一層の充実を図るため、12月1日（火）に教育研究協力に関する協定を締結した。

協定締結を受け、静岡県経済産業部振興局の山本寛人専門監が、12月16日（水）に連合農学研究科を訪れ、千家正照研究科長と学生の研究指導を充実させるための手続きについて確認を行った後、協定書を取り交わした。この協定は、大学院連合農学研究科の教育研究活動の一層の充実と静岡県試験研究機関の研究業務の活性化を図るとともに、相互の研究交流を促進することにより学術及び科学技術の発展に資することを目的としている。

静岡県試験研究機関には環境衛生科学研究所等多くの研究所があり、農学博士の研究員が豊富に揃っている。今後、様々な研究分野で連携していく。



協定書を手にする千家研究科長と静岡県山本専門監

森脇学長らが同済大学（中国）一行と懇談

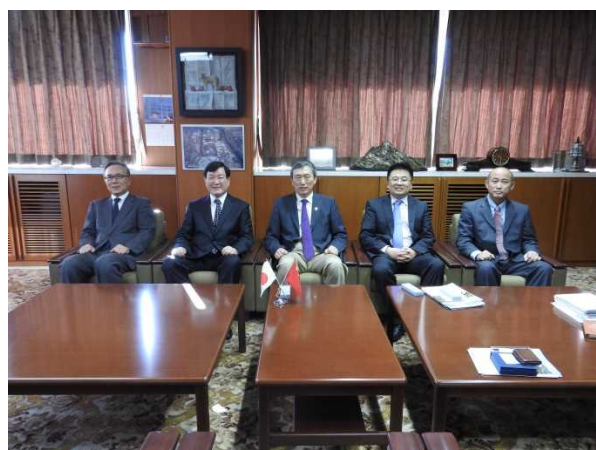
森脇学長，鈴木理事（国際・広報担当），八嶋工学部教授，沢田工学部教授は，12月1日（火），本学と大学間学術交流協定を締結している同済大学（中国）の裴鋼学長，黄雨教授，黄曉潔氏（国際交流協力室）と懇談した。黄雨教授は，かつて八嶋教授の指導の下で博士研究員として研究を行っていた実績があり，今回の訪問は恩師との再会となった。

懇談の中で，森脇学長は，「同済大学は工学・社会基盤分野の研究において中国トップクラスの大学であり，本学においても同分野に力を入れていることから，両校の連携は極めて重要である」と述べ，今後も協力関係を築いていくことで双方が合意した。

学長表敬訪問後，裴鋼学長および黄曉潔氏は医学部を，黄雨教授は工学部をそれぞれ訪問し，キャンパス見学および各部局教職員との懇談を行い，親睦を深めた。



懇談の様子



左から 八嶋教授，森脇学長，裴鋼学長，黄雨教授，沢田教授

学位授与

学位の種類	学位記番号	氏名	学位授与年月日	博士論文名 (和訳)
博士（医学）	甲第1000号	まぶち りょうこ 馬渕 量子	平成27年11月18日	High serum concentration of L-kynurenine predicts unfavorable outcomes in patients with acute myeloid leukemia (血清キヌレニン高値であることは急性骨髄性白血病患者において予後不良因子となりうる。)

表彰受賞者

日本教育美術連盟 教育美術功労賞

受賞者：辻 泰秀教育学部教授
受賞功績：美術教育の振興発展に貢献
受賞日：平成27年11月12日

日本機械学会流体工学部門 部門賞

受賞者：船曳 一正工学部准教授
受賞功績：流体工学の発展に貢献
受賞日：平成27年11月7日

日本プロセス化学会 優秀賞

受賞者：安藤 香織工学部教授
受賞論文：Highly Practical New Methylenation Reagent for Aldehydes and Ketones
受賞日：平成27年11月27日

平成27年秋の生存者叙勲 ―本学関係者1名が受章―

平成27年秋の生存者叙勲が11月3日に発表され、本学関係者では次の方が受章された。

教育研究功労

瑞宝中綬章

小柳 洽 氏
(名誉教授、元工学部教授)



産官学連携の実施状況

○共同研究

(平成27年11月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
工学部	板谷 義紀	(株)ハイテム
〃	植松 美彦	(株)ハイテム
〃	倉内 文孝	(一財) 道路交通情報通信センター
〃	松村 雄一	アイシン・エイ・ダブリュ(株)
〃	横川 隆志	東京瓦斯(株)
〃	王 志剛	名北工業(株)
応用生物科学部	西飯 直仁	富士フイルム(株)
〃	西津 貴久	(有)下呂特産加工
生命科学総合研究支援センター	近江 靖則	イビデンエンジニアリング(株)
〃	近江 靖則	東ソー(株)
総合情報メディアセンター	村上 茂之	(公財)岐阜県建設研究センター

○受託研究

(平成27年11月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
医学系研究科	一宮 尚志	国立研究開発法人科学技術振興機構
〃	吉田 和弘	国立大学法人大阪大学
医学部附属病院	吉田 和弘	特定非営利活動法人 日本がん臨床試験推進機構
工学部	櫻田 修	国立研究開発法人科学技術振興機構
〃	高橋 周平	国立大学法人北海道大学
〃	船曳 一正	国立研究開発法人科学技術振興機構
〃	三宅 卓志	国立研究開発法人科学技術振興機構
応用生物科学部	光 永 徹	国立研究開発法人科学技術振興機構
〃	柳井 徳磨	小野薬品工業(株)
複合材料研究センター	深川 仁	国立研究開発法人科学技術振興機構
〃	魚住 忠司	国立研究開発法人科学技術振興機構

外国人研究者の受け入れ（11月）

受入部局	氏名 (国名)	所属・職名	期間	研究題目
工学	タン イオンボウ 譚 涌波 (中国)	南京情報工程大学 准教授 Associate Professor, Nanjing University of Information Science and Technology	2015/11/1～ 2016/10/31	帯電した雷雲の人口制御放電に関する研究 A study on artificially-controlled discharge of electrified thunderstorm
教育	ティダ ウィン Thida Wint (ミャンマー)	マンダレー大学 講師 Lecturer, University of Mandalay	2015/11/15～ 2016/1/31	ダブルラムダ, グザイハイパー核に関する研究 Experimental study of double-Lambda and Xi hypernuclei
工学	アフォロビ・サヒード Afolabi, Saheed オランレワジ Olanrewaju (ナイジェリア)	イロリン大学 講師 Assistant Lecturer, University of Ilorin	2015/11/28～ 2016/5/25	ナイジェリアの薬用植物から単離した化合物のがん化 学予防 Cancer chemoprevention using isolated phytochemicals from Nigeria medicinal plants

メディア掲載一覧

○新聞

(平成27年11月分)

掲載日	新聞名	内容
11月1日	中日	◎主役・脇役：労働環境是正へ自覚を ブラックバイトの勉強会を開催 ～地域科学部 南出吉祥 准教授～
11月1日	中日	ミスとミスター 岐大祭で初選出
11月2日	岐阜	狩猟文化発信へ拠点 揖斐川町に研究所開設 捕獲や採集を実践 ～地域科学部 山口未花子 助教～
11月2日	岐阜	◎教えてホームドクター：強迫性障害になりやすい人は？ 男性の方が発病早い ストレスや脳の機能不全要因 ～医学部附属病院 塩入俊樹 教授～
11月2日	岐阜	◎同窓会だより：岐阜大附属中学校（昭和47年卒業・岐阜市）
11月2日	岐阜	会社再興、熱く語る 浅野撚糸社長が講演 ～地域交流協力会～
11月3日	中日	瑞宝中綬章（教育研究功労） コンクリート研究一筋 ～小柳 洽 名誉教授～
11月3日	朝日	秋の叙勲 県内 65 人：不妊悩む女性支援 旭日単光章 県助産師会長・石田チハルさん（元医学部附属病院勤務）
11月3日	中日	岐阜大学シティカレッジプログラム：酵母が醸す「お酒」のはなし ～応用生物科学部 中川智行 教授～
11月3日	岐阜	◎研究室から大学はいま：再生医療の「基盤整備」に力 ～医学系研究科組織器官形成分野 國貞隆弘 教授～
11月6日	岐阜	バランス芸、児童沸かす 病院道化師大棟さん 岐阜大附属小で講演 ～教育学部附属小学校～
11月6日	中日	つながいびがわマラソン2015：清流ランニングポリス・岐阜羽島署の嶺川さん 安心安全 守りたい ～岐阜羽島署交通課（岐阜大卒） 嶺川絵理さん～
11月7日	岐阜	◎夕閑帳：長寿飴とイチョウ葉エキス ～岩田弘敏 名誉教授～
11月7日	岐阜	個人情報の扱い 岐阜大防止策を 文科省評価で指摘
11月7日	中日	読みたくなる本どっち？ 全国書評戦大会予選 岐阜大生らお薦め熱弁 ～教育学部3年 渡邊祐子さん～
11月8日	岐阜	ぎふ大学ネットワーク：7大学の学生討論 育児と仕事、どう両立「一丸で少子化対策を」
11月8日	中日	幻想的 精緻に描く動物 各務原・奥村さん 3冊目油彩画集 ～教育学部美術工芸科卒 奥村晃史さん～

掲載日	新聞名	内容
11 月 10 日	岐阜	岐阜大が 1 部入れ替え戦へ 東海学生アメフト ～アメリカンフットボール部「ファントムズ」～
11 月 10 日	岐阜	◎研究室から大学はいま：経済再興へ企業行動変化を ～地域科学部地域政策学科地域政策講座 柴田 努 助教～
11 月 10 日	岐阜	11 月 14 日は「世界糖尿病デー」 食生活は和食で改善 ウォーキン グお勧め 歯周病の治療で血糖値改善 ～医学系研究科内分泌代謝病態学 武田 純 教授～
11 月 11 日	日本経 済	学長アンケート：入試 7 割が改革姿勢 英語民間資格活用意欲際立 つ ～森脇久隆 岐阜大学長～
11 月 11 日	岐阜	岐阜大で大学関係者らシンポ 女性研究者、活躍の土壌を 育児と両 立へ「支援制度活用」 ～応用生物科学部 山根京子 助教～
11 月 11 日	日本経 済	知の明日を築く：岐阜大・地域減災研究センター 防災教育、行政と 連携 ～地域減災研究センター 杉戸真太 センター長～
11 月 12 日	岐阜	岐阜テクノフェア 2015 つくる・みせる・つながる 清流ぎふの伝統 と最先端 ～王 志剛 副学長・産官学連携担当～
11 月 12 日	中日	◎鶉の目：スター
11 月 12 日	岐阜	皮膚病の知識深める ～医学部附属病院皮膚科 藤澤智美 臨床講師～
11 月 12 日	中日	日本就職へ出会いの場 留学生と地元企業交流 ～工学部 1 年 林 岳さん～
11 月 13 日	岐阜	◎話題：交流会で紙すきなど体験
11 月 13 日	岐阜	模擬授業を通じ美術教育考える 岐阜で全国大会 ～教育学部 辻 泰秀 教授～
11 月 13 日	朝日	狩猟文化 発信に研究所 岐阜大・山口助教 揖斐川に開設 人と動物との関係伝える場に ～地域科学部 山口未花子 助教～
11 月 14 日	中日	くい不正 中部 33 件 旭化成発表 愛知 21 件、岐阜 2 件 ～応用生物科学部附属動物病院～
11 月 14 日	岐阜	旭化成建材 データ改ざん 266 件 岐阜は学校の 2 件 ～応用生物科学部附属動物病院～
11 月 14 日	朝日	再び 1 部へ あす勝負 岐阜大アメフト部 ～アメリカンフットボール部「ファントムズ」～
11 月 14 日	岐阜	○講演：サロン 9 条例会 ～安部 淳 名誉教授～

掲載日	新聞名	内容
11 月 14 日	中日	岐阜大の高木教授 防災のあり方講演 ～工学部 高木朗義 教授～
11 月 14 日	岐阜	県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 設立 30 周年で防災シンポジウム 「自助で減災」力説 身近な対策を講演 ～工学部 高木朗義 教授～
11 月 16 日	岐阜	岐阜大が 1 部昇格 東海学生アメフト ～アメリカンフットボール部「ファントムズ」～
11 月 17 日	岐阜	◎夕閑帳：ストレスチェック制度 ～岩田弘敏 名誉教授～
11 月 17 日	岐阜	◎研究室から大学はいま：野菜栽培の環境，自動制御 ～応用生物科学部応用生物科学科 嶋津光鑑 准教授～
11 月 17 日	朝日	岐大付属動物病院は安全 ～応用生物科学部附属動物病院～
11 月 17 日	読売	杭 55 本中 4 本データ流用 岐阜大動物病院 傾き確認できず ～応用生物科学部附属動物病院～
11 月 17 日	岐阜	臨時国会見送り 抗議で共同声明 県内 3 大学有志の会
11 月 17 日	中日	臨時国会見送り 有志が抗議声明 県内 3 大学
11 月 17 日	中日	岐阜大と食品科学研究 県が協定 学内に施設建設へ
11 月 17 日	岐阜	機能性食品「高付加価値を」 県と岐阜大 開発拠点設置で協定
11 月 17 日	岐阜	岐阜大，遺伝子工学「銀賞」 応用生物科学部，国際大会で 2 年連続 「mRNA」環状化を進展 ～応用生物科学部の学生メンバー～
11 月 18 日	中日	選挙のこと話そうよ 岐阜大生，中学で授業 ～教育学部 渡辺貴也さん他 8 名～
11 月 18 日	岐阜	広域連携構想考えよう 岐阜市が来月 21 日にシンポ ～森脇久隆 学長～
11 月 18 日	中日	入院患者元気に 癒やしの花展 ～医学部附属病院～
11 月 18 日	岐阜	第 66 回岐阜新聞大賞選考委 各部門の候補者審議 ～森脇久隆 学長～
11 月 18 日	毎日	岐阜大に県食品科学研 国立大内全国初 18 年度末完成目指す
11 月 18 日	朝日	機能性食品開発に本腰 県，成長産業育成へ 岐阜大や企業と連携
11 月 19 日	岐阜	リスの体，特徴理解 岐阜大で中高生ら学習会
11 月 19 日	岐阜	ASEAN 市場解説 ジェトロ所長が講演
11 月 19 日	中日	合成生物学の世界大会 岐阜大チームが銀賞に 応用生物科学部の 12 人
11 月 20 日	中日	岐阜大アメフト部 東海連盟 1 部昇格 2 年ぶり ～アメリカンフットボール部「ファントムズ」4 年 野口航希 主将～
11 月 21 日	中日	まちづくりで岐阜大と協定 北方町 ～森脇久隆 学長～

掲載日	新聞名	内容
11 月 21 日	中日	ASEAN 経済をジェットロ職員説く 岐阜大で講演会
11 月 21 日	岐阜	まちづくり政策で連携 岐阜大と北方町が包括協定 ～森脇久隆 学長～
11 月 22 日	岐阜	◎ぎふ幸せ瓦版：アプリで防災学習を 取り組み採点，年内に提供 ～清流の国ぎふ防災・減災センター／工学部 高木朗儀 教授～
11 月 23 日	読売	ぎふう～まん：揖斐川に研究所開設 狩猟から命を学ぶ ～地域科学部 山口未花子 助教～
11 月 24 日	岐阜	◎研究室から大学はいま：加熱による食材の変化解明 ～教育学部家政教育講座 柴田奈緒美 助教～
11 月 25 日	岐阜	地方創生と大学 岐阜大「地の拠点」に ～地域協学センター 益川浩一 教授～
11 月 26 日	岐阜	パラリンピック 金への努力語る 岐阜大附属中で講演 ～教育学部附属中学校～
11 月 28 日	岐阜	研究や事業に計 300 万円助成 遠藤斉治朗財団 ～生命科学総合研究支援センター～
11 月 28 日	中日	住田さん（岐阜大 3 年）準グランプリ 就業体験の地域若者チャレンジ大賞 金属の表面削るドリルを開発 ～工学部 3 年 住田 涼 さん～
11 月 29 日	岐阜	地域医療功労者ら表彰 県医師会が記念大会 最高優功賞 ～医学部附属病院 武田 純 教授～
11 月 29 日	岐阜	防災リーダーが地域ネットづくりを 助け合いへ人材育成 ～清流の国ぎふ防災・減災センター 能島暢呂 教授～
11 月 29 日	岐阜	地域防災力を底上げ 「清流の国ぎふ防災・減災センター」拠点 耐震化や家具固定呼び掛け ～清流の国ぎふ防災・減災センター～
11 月 30 日	岐阜	◎夕閑帳：板取のモネの池 ～岩田弘敏 名誉教授～
11 月 30 日	岐阜	「献腎移植まだ少ない」 岐阜大病院講師が講演 提供の意思表示訴え ～医学部附属病院腎移植外科 土屋朋大 講師～

◇第7回授業編成専門委員会

11月2日（月）

（議事）

1. 平成28年度新規開講科目について
2. 平成28年度開講授業計画（案）について

◇第503回役員会

11月12日（木）

（議事）

1. 大学院医学系研究科所属助教の生命科学総合研究支援センターへの配置換えについて
2. 教育職員雇用事前協議について
3. 教育職員雇用申請について
4. 特任教員雇用事前協議について
5. 特任教員雇用申請について
6. ポイント外教育職員の配置について

◇第8回教学委員会

11月17日（火）

（議事）

1. 学生表彰について
2. 平成27年度後期の授業料免除に係る留年・修業年限超過者の取扱いについて
3. 岐阜大学教養科目に係る「大学以外の教育施設等における学修」の単位認定に関する取扱細則の一部改正について
4. 岐阜大学教養科目に係る協定大学等のサマースクール等における学修の単位認定に関する取扱細則の一部改正について

◇第504回役員会

11月19日（木）

（議事）

1. 教育職員雇用申請について
2. 特任教員雇用事前協議について

◇第7回部局長・部長会

11月19日（木）

（協議事項）

1. 教育職員個人評価について
2. 当面の優先課題について
3. 教員組織のあり方について（案）
4. 岐阜大学における経営／マネジメント教育の取組－基本的な考え方－

◇第7回入学試験専門委員会

11月25日（水）

（議事）

1. 平成28年度工学部ツイニング・プログラム入学者選抜試験学生募集要項（案）について
2. 岐阜大学オープン・キャンパス2016日程（案）について

◇第505回役員会

11月26日（木）

（議事）

1. 教育職員雇用事前協議について
2. 教育職員雇用申請について
3. 教育職員の任期付きから任期なしへの異動について

◇第141回教育研究評議会

11月26日（木）

（審議事項）

1. 平成28年度の全学共通教育科目に係る非常勤講師経費の負担に関する申合せについて
2. 教育職員の任期を定める規程の一部改正について

◇第506回役員会

11月26日（木）

（議事）

1. 教育職員の任期を定める規程の一部改正について

◇第191回 図書館委員会

12月1日（火）

（審議事項）

1. 平成28年度開館日程について（案）
2. 平成28年度政策経費事業計画等について（案）

主要日誌

月 日	行 事 名
11 2	第7回授業編成専門委員会 医学研究科・医学科教授会議(医)(臨時)
4	第46回岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティフォーラム」
6	代議員会(連農)
9	岐阜大学キックオフ・シンポジウム(ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ)
11	看護学科・看護学専攻教授会議(医) 教授会・代議員会(工) 教授会(メディア)
12	第503回役員会
13	第62回解剖体慰霊祭(医)
14	地域科学部特別入試(推薦Ⅰ・社会人・帰国生) 医学部看護学科特別入試(推薦Ⅰ・社会人)
16	応用生物科学部特別入試(推薦Ⅰ)(～17日まで)
17	第8回教学委員会 研究科委員会(連創)
18	教授会・研究科委員会(教・地・応) 医学研究科・医学科教授会議(医) 看護学科・看護学専攻教授会(医)(臨時)
19	第504回役員会 第7回部局長・部長会
20	代議委員会(連獣) 永年勤続者表彰
25	第7回入学試験専門委員会 教授会(流域・生命)
26	第505回, 第506回役員会 第141回教育研究評議会
30	職員内定式
12 1	第191回 図書館委員会